



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



R3. 9. 17(金) No.20 小柳 弘志

英語教育日本一

9月13日(月)に教育委員会等から指導者に来ていただき、3年1組英語の授業参観をしていただきました。絶滅危惧の動植物について調べたことを伝え合い、レポートにまとめる授業でした。右の写真がそうです。電子黒板やタブレットを使いながら、ペアを変えていきながら、調べた内容の情報交換を行いました。そして英語表現にしたときに、より伝わりやすいレポートづくりに挑戦しました。私たちが子どもの頃受けていた英語の授業と今の英語の授業は大きく違っています。タブレット端末のICT等も活用しながら、今後、グローバルな社会で活躍することができる基礎を培っています。県も「英語教育日本一」というスローガンを掲げています。今後、ご家庭でもタブレットを使って英語の学習(予習・復習)をすることがありますが、機会があれば一緒に見ていただければ幸いです。学校でどんな英語の学習をしているのか知ることができます。



英検 IBAテスト全学年実施

9月15日(水)に行いました。「英語教育日本一」をめざして中学校3年生の段階で英検3級相当レベル以上の力をつけるという具体的目標に向かって、現在の自分の力を知るために行いました。筆記が25分、リスニングが20分のテストです。このようなチャレンジを通して、自分の住んでいる地域や熊本に誇りを持ち、多様な文化をもつ人々と、英語で考えや気持ちを伝え合うことができる力を育てます。

また、南阿蘇村からも生徒が積極的に挑戦できるように、英検受験時の経済的な補助をいただいています。



火災避難学習を行いました

実践的な判断力や行動力を育てる目的で火災発生に対する防護・避難訓練を行いました。

右の写真は担当の宮川先生がパソコン室から各教室にネット環境を活用して指導をしている様子です。火事以外にも災害は突然私たちに降りかかってきます。そのときにパニックにならずに正しく行動できるよう。また、パニックになったとしても正しく行動できるようにしたいものです。



3連休、用心・充実した生活を

台風14号から変わった温帯低気圧の動きが心配されます。周辺地域および進路にあたる地域には強風や大雨に対する注意喚起が気象庁から出ています。特に明日の土曜日は用心してください。9月は防災月間です。非常時の備品や持ち出し品の確認、家・建物等の点検をして安全の確保を行ってください。

また、3連休中に運動会が予定されている校区内外の小学校・保育園等もありますが、熊本県は「まん延防止等重点措置」の期間中ですので、行かないようにしてください。

今週、気になる記事がありました

【「うざい」「きもい」「死んで」タブレット端末のモデル校で起きたいじめ問題】9/14 FNNニュース

東京・町田市の小学校で2020年、小学6年生の女子児童が、タブレット端末を使ったいじめを訴えたあとに自殺した問題を受け、文部科学省は、関係する教育委員会に対し、速やかに事実確認を行うことを明らかにした。

あらためて、今回の経緯を整理する。

遺族によると、2020年9月に当時12歳の小学校6年生の女子児童が、学校のアンケートでいじめを訴え、11月に女子児童は自らの命を絶った。

女子児童は遺書に、同級生数人の名前と、いじめの内容を書き残していた。

遺族はいじめが原因だと訴えたが、学校は「トラブルは9月で解決している」と回答し、また、2021年2月に開いた保護者会でも、「いじめと自殺には因果関係がない」と説明していた。

しかしその1カ月後、一転して学校側は、「いじめが自殺の原因のひとつ」であることを認めた。

この小学校は、タブレット端末を使った授業を行うモデル校に選ばれ、生徒1人に1台ずつタブレット端末が配布されていた。

この端末が、いじめ行為に使われていた。

授業中などにアプリのチャット機能を通じて、女子児童に「うざい」、「きもい」、「死んで」などと送っていたという。

コロナ禍でオンライン授業が広まる中、遺族は、授業で使われるタブレット端末が、いじめに悪用される事態への対策を求めている。

【児童のタブレット 親は目配りを】9/15 熊日新聞「こちら編集局」記事

東京都内で昨年自殺した小学6年女児の両親が記者会見し、女子のいじめ被害を訴えた記事が載っていましたね。学校が児童に配ったタブレット端末のチャット機能が、子ども同士のいじめの舞台となったそうです。コロナ禍でオンライン授業が重宝され、教育現場はタブレット端末の活用に力を入れているようですが、一歩間違えれば子どもを追い詰める道具になってしまう怖さを痛感しました。送信した側は軽い気持ちだったかもしれませんが、受け取った子どもの心の傷は計り知れません。うちにも子どもが2人います。オンラインで他人を傷つけていないか、今まで以上に親の目配りが必要だと感じています。

南阿蘇中学校の生徒会はスマホやネット環境が及ぼす悪影響のことを自分たちで考えて防ぐために右図の「南阿蘇中 守ルール」というのを2年前に作りました。保護者の皆様にもお知らせします。

○健康・生活面

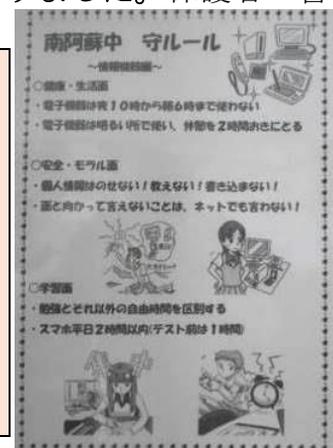
- ・電子機器は夜10時から朝6時まで使わない
- ・電子機器は明るいところで使い、休憩を2時間おきにとる

○安全・モラル面

- ・個人情報のはせない！教えない！書き込まない！
- ・面と向かって言えないことは、ネットでも言わない！

○学習面

- ・勉強とそれ以外の自由時間を区別する
- ・スマホ平日2時間以内(テスト前は1時間)



スマホ、タブレット、電子機器、ネット関係は、使い方次第で善にも悪にもなります。特に安全・モラル面で書いてあるように、自分の人権、相手の人権を守るためにも「個人情報のはせない！教えない！書き込まない！」「面と向かって言えないことは、ネットでも言わない！」特に重要なことだと思います。